

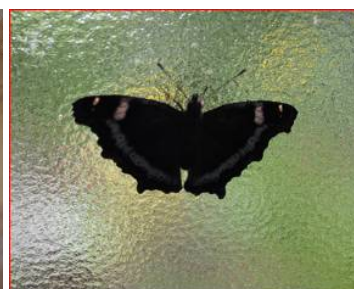
図らずも蝶の飼育：ルリタテハとナガサキアゲハ

臼杵 浩志(5回生)

(投稿:平成29年10月15日)

<ルリタテハ>

9月16日(土)、農作業中、家内が栗の木の下に生えているホトギスに黒いイモムシを2匹見つけた。ホトギスはルリタテハの食草だから、もしかしてルリタテハ?と思い飼育してみた。順調に大きくなり、9月21日(水)、飼育台(茶箱)の蓋にぶら下がって蛹化した。そして、その1週間後の28日(金)に羽化、綺麗なルリタテハが現れた。写真撮影の後、庭に放蝶する。



<ナガサキアゲハ>



9月18日(月)と9月23日(土)の両日、温州みかんの木にアゲハの幼虫を1匹ずつ見つけた。よく見かけるナミアゲハとは少し顔つきが違うので、ネットで調べたら、どうもナガサキアゲハのようだ。ナガサキアゲハについては、先

に、香川さんからも報告されているが、兎に角飼育してみることにした。約1週間後の9月26日(火)、1匹は、茶色の、もう1匹は緑色の蛹となった。その2週間後の10月11日(水)朝、茶色の蛹が羽化した。予測どおり、真っ



黒のナガサキアゲハ(雄)が現れた。写真撮影の後、放蝶したが、緑

色の方は、未だ飼育壺の外側にくっついたまま。雌であるといいなと思いつつ、羽化を待っているところ

ある。🐸

